

プレス・リリース

2020年3月25日

新型コロナウイルス感染症に対する IOSCO を通じた証券規制当局の協調

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が世界経済に及ぼすマクロ経済的な影響から生じている資本市場における混乱への対応に関して、世界の資本市場の95パーセントを規制する証券規制当局らによって構成される証券監督者国際機構（IOSCO）のメンバー当局は、緊密に協力している。

IOSCO 代表理事会は、あらゆる種類の資産について取引参加者による価値評価とリスクの移転が可能となるように、この困難な時期において資本市場が開かれ、秩序だった態様で機能し続けることを確保することにコミットしている。特に、エクイティ、クレジット及び資金調達といった各市場の機能が維持されることは、資金へのアクセスやリスクヘッジを通じた、実体経済における COVID-19 危機への対処努力を支援するものである。この目標を達成するため、証券規制当局は、市場インフラにおけるオペレーション及び財務上の強靱性、市場のユーザーのオペレーション能力、そして上記各市場への継続的な情報のフローについて注視している。また、証券規制当局は、市場の公正性と投資家保護の原則が維持されることを確保しつつ、COVID-19 により生じた困難に対する市場参加者の対応を促進するため、適切な規制上の柔軟性を提供している。

IOSCO 代表理事会と IOSCO 地域委員会は、情報共有及び必要に応じた協調的な対応のために、定期的な電話会合を実施し、COVID-19 に起因する問題に対処するための行動をとっている。IOSCO は、実施されている政策や規制上の措置に関する情報共有を含め、他の基準設定主体¹及び金融安定理事会（FSB）と緊密に協力している。また、銀行・証券規制当局は、十分な流動性と資金調達手段を確保するために、法域間の協力を継続している。

IOSCO 代表理事会のアシュリー・オルダー議長は次のように述べた。「エクイティ、クレジット、ヘッジ取引といった各市場の主要な目的は、実体経済を支えることである。IOSCO 代表理事会は、このような困難な時期を通じて、これらの市場が引き続き開かれ機能し続けることを確保する旨を、固く決意している。資産の種類を超えた前例のない価格変動の最中において、企業が資金にアクセスし、またリスクを管理するためには、これらの市場が不可欠である。各当局は、開かれた市場に向けた取組みを支えるため、緊密な協力を継続していく。」

IOSCO とそのメンバー当局は、COVID-19 が金融市場に引き起こす状況の進展を引き続き注視するとともに、適切に対応していく。

¹ これらの主体には、バーゼル銀行監督委員会、BIS 決済・市場インフラ委員会及び保険監督者国際機構を含む。